

朝日新聞の地域情報紙

ふれあい朝日

No.279

発行:湘南新聞販売株式会社/編集:「ふれあい朝日」編集部
〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町1-14/TEL0467-82-3618/FAX0467-84-0342/配布エリア:茅ヶ崎市(一部除く)藤沢市(引地川以西)綾瀬市(一部)メールfureai@asahi.email.ne.jp/
URL=http://www.shonan-sh.jp/company/

新聞に関するすべてのお問い合わせ・ご連絡は
0120-033-084
朝日新聞カスタマーセンターへ
受付時間:5時~20時(日・祝17時迄)

新聞お休み・お取り置きのご連絡は…
無料 サービスが便利です!
※通話料・通信料は発生します。

パソコンから
<https://www.yasumin.com/shonan/>
やすみん 湘南 検索

携帯電話から
右のQRコードを読み込んでください。
※読み込めない場合は
<http://www.yasumin.com/shonan/mo>
にアクセスしてください。

大好評の「朝日新聞の漢字用語辞典」
10名様にプレゼント!

漢字用語辞典
文字が大きく、字画がはっきり。「使い分け」の解説、旧来の表記や当て字も収録。家庭で、職場で、便利に使える必需品です。

(ご応募の詳細は本紙7面でご確認ください)

「新聞」で学びを広げる

教材としての新聞活用法

朝日新聞社による
小学校での出前授業
特別レポート

言語活動の充実を強調した新学習要領が2011年春から全面実施となり、新しい教科書には「新聞」が多く登場するようになった。これに伴い、朝日新聞社では、すでに新聞活用教育の重要性を説き、積極的に授業に取り入れている小学校から大学までの先生20名の協力のもと、新聞記事を使った実践的な授業展開を紹介するガイドブックを作成、国内各校と関係各所に配布した。朝日新聞社の社員及び記者が講師となり、新聞の基本的なしくみや読み方、最新ニュースの背景や記者の仕事について解説する「出前授業」(※)も、現在全国で行われ始めている。



「茅ヶ崎市立西浜小学校で、7月に『出前授業』の予定があります。当編集部が朝日新聞本社からの情報を耳にしたのは7月始め。是非とも参加させていただきたいと学校側にお願ひし、当日取材をご快諾いただいた。

「出前授業」が行われたのは夏休み前日、7月20日(木)の3時間目。6年生と保護者約1500人が参加した。

きっかけは、保護者の加藤亜矢子さんが、図書館で借りた本で「出前授業」の存在を知ったこと。「取材をもとに書いていく新聞記事には信頼性があり、文章もきちんとまとめられている。新聞についての学ぶことで、夏休みの宿題にも役立つので



この日の講師は朝日新聞社販売局・鈴木美希さん(II写真上)。学びのメニューは①「記者のしごと」「新聞ができるまで」というタイトルの2本立てDVD鑑賞、②新聞を開こう(トップページから中面へ、興味から確認へ)、③新聞の構成を知ろう(ニュースの重要性によって決まる記事の配置や読み方を学ぶ)、④見出しをつけてみよう(全国紙各紙の同じニュースの取り上げ方を比較。自分で見出しを考へる)、⑤カッコいい文章を書こう、⑥質問

DVD鑑賞後、あまり親しみのない新聞を持って余す子も少なくないのでは?と心配したものの、④見出しをつけてみようでは、どの子も真剣な表情に。子ども達から、保護者から、先生から、自分が考えた見出しの発表があり、質問時間も活気づいた。

この日の授業を締めくれたのは、児童代表・齊藤さえさん。

資料1
大学入試問題の出題数は?

■新聞による問題使用大学数と記事数

新聞	大学数	記事数
朝日新聞	265	518
B紙	15	16
C紙	21	32
D紙	3	3
E紙	16	26

集計:ベネッセコーポレーション(2010年5月14日現在)

■出題科目比率

小論文	52.7%
国語	25.3%
英語	9.7%
その他	12.3%

■使用記事比率

天声人語	20.1%
社説	14.7%
オピニオン	14.7%
文化+文化(夕)	12.0%
ヘラルド朝日	7.9%
その他	31.2%

「朝から夜まで一生懸命に仕事をしてもらっていることがわかった。新聞が1億円もする機械で作られていることに、とても驚いた。雨の日のビニール袋(のサービス)もすごいと思う。今日帰ったら、早速今日の教材で使った新聞をしっかり読んでみたいと思う」

「朝から夜まで一生懸命に仕事をしてもらっていることがわかった。新聞が1億円もする機械で作られていることに、とても驚いた。雨の日のビニール袋(のサービス)もすごいと思う。今日帰ったら、早速今日の教材で使った新聞をしっかり読んでみたいと思う」

「朝から夜まで一生懸命に仕事をしてもらっていることがわかった。新聞が1億円もする機械で作られていることに、とても驚いた。雨の日のビニール袋(のサービス)もすごいと思う。今日帰ったら、早速今日の教材で使った新聞をしっかり読んでみたいと思う」

かと思えるだけで、考察力が身に付きそう。親子共通の話題にもなる。知らないのと、知って読むのでは先がまったく違ってくる(袋野浩美さん)

「学校の広報委員をしているので、見出しの付け方は特に参考になった。内容をわかっていないといい見出しは付けられないし、名前や年齢の記載が大切な意味もよくわかった。子どもの夏休みの宿題にも大いに役立つと思う(古賀陽子さん)

6年生の担当教師である水上晴代先生は、「子ども達はいろんなことを知っているが、大切なのは『現実』を知ること。実社会で働いている大人に直接教わることで、真実に触れることがありがたい。今日は資料がたくさんあり、作業もしっかり入っていたので、とても有意義だった」と話してくれた。

資料2

	22年	23年	24年	25年
小学校	移行期間	新学習指導要領		
中学校	移行期間	新学習指導要領		
高校	移行期間	新学習指導要領(1年生より順次移行)		

【編集部よりお知らせ】
※朝日新聞社による「出前授業」は全国より大変な反響をいただき、現在は開催日の遅延やお申し込みに対応できない状況が続いております。何卒ご了承ください。

※新聞に親しみ、簡単に読み解いていくコツを知るには、新聞本体にその特徴を盛り込んだ「朝日新聞PR版」がお勧めです。ご希望の方には、ふれあい朝日編集部より送らせていただきます。また、右上記のプレゼントにも是非ご応募ください。